

令和3年度 南大隅町地域包括支援センター 事業所研修会 アンケート集約結果

日 時:令和3年12月16日(木) 午後6時～8時25分

場 所:老人福祉センター

参加数:32名

題 目:8050 問題(9060 問題)等のひきこもり支援について

【アンケート回答数:23名】

1. 研修会の内容はどうでしたか？

- ・大変よかった 11名 ・よかった 11名 ・あまりよくなかった 0名 ・よくなかった 0名
- ・未記入1名

2. どのようなことが印象に残りましたか？

- ・介入している際に、「おせっかいしている、余計なお世話をしている感覚で接している」といった言葉が印象に残った。どこか自分は「良くしてあげたい」と上から目線があったと反省した。
- ・お節介な人になりたいと思います。
- ・鹿屋市に引きこもり支援の社会資源があり、献身的に支援されている方の心意気(居心地の良い場所の確保)感じられた。
- ・LINEでの相談
- ・南大隅町があと30年後になくなると聞いてびっくりした。南大隅町内でもひきこもり人口がある事を知ってびっくりした。これでもまだ数字があがってくるのではないかな？世の中がおせっかいをしなくなってきているのでこれからは少しまわりに気くばりをするようつとめたいです。
- ・人には「人との関わり」が大切だという事が改めてわかりました。
- ・時間をかけてゆっくり進めていく姿勢が伝わってくる。
- ・お節介＝支援ではない お節介を続けながら時間をかけて少しずつ歩み寄ることが大切。
- ・今後、大倉さんの所へ相談できるケースもある事がわかり、支援の中で活用できたらと思いました。
- ・大隅半島、支援できるところが少ない事、自立する事ができにくい。地域性だなと改めて感じた。
- ・県内や身近な問題であると再認識できました。特に高齢化の7090問題は印象になりました。
- ・公的事業ではなく、民間力をいかした内容が印象にのこりました。
- ・素晴らしい事業をされていますね。
- ・生きづらさや自死念慮を抱える要因は自己で起こしたことでなく、身の周りからの環境(人間関係)が要因であることで、解決・改善につなげるためにはまず理解すること、励ましにもタイミングが大事であること。
- ・南大隅町からの(4～11月に)自殺相談件数が22名 ひきこもりが18名と、実際に相談があることにおどろきました。家族支援 ひきこもりの原因 人との関わりが原因
- ・独自で民間として活動されていることが素晴らしいと思えた。仕事内容にあこがれる部分があった。
- ・「支援する」と考え方を改める事と、あせらず、あきらめず、おせっかいをやり続ける事で(時間をかけて)関係性を構築する大切さ
- ・「ひきこもり」や「ニート」など、心の病んでしまうことで起こしてしまう行動は、他人事では無いと、子を持つ親として感じました。もし、自分が、その立場になった時に、親身に、相談できる場所があるというのは、とても安心出来ると思いました。
- ・南大隅町にも、このような支援機構があればと思います。

3. 普段の業務において、ひきこもり(8050等)の方に関わることがありますか？

○頻度

・よくある 0名 ・たまにある 5名 ・以前あった 2名 ・あまりない 12名 ・全くない 5名

○印象

・増えてきた 6名 ・あまり変わらない 11名 ・減ってきた 0名

○関わり

・十分関わられた 1名 ・関わり方がわからなかった 3名 ・関わっていない 13名

○相談先

・介護福祉課 2名 ・社協 4名 ・包括 7名 ・教育委員会 0名 ・自事業所 2名
・相談先がわからない(したことがない) 7名

4. ひきこもりの方へ関わったことがある方へ。ケース検討会等で対応を考えたい方がいますか？

・いない 11名

・いる 3名

・高校の時から引きこもりになり両親が亡くなり一人暮らし(現在、無職の40才)。
親の保険金はあるが、兄がお金を取りに来る現状。兄は隣の県で働くが特に支援なく以前は
たまたまに帰省する様子。最近話すことがない
・不登校

5. 感想や意見

・今まで知らなかった事が多く、勉強になりました。

・行動を起こせば関係が変えられるかも・・・

・期待していた研修内容とは違ったがよかった。どこまでがひきこもりと言うのか？ 仕事はしていないが運転ができて買い物には行く等。これはひきこもりとは言わないのか？その区別や、SOSを出しているのか、その人にとっては悩んでいないのか、わからなかったりする。

・設定時間が長すぎるので、30分は質問時間にしてほしい。1・5時間が講義の設定にしてほしい。出来れば昼間の開催をお願いします。

・南大隅町からの自殺相談が22人、うち18人がひきこもり状態であるという報告にびっくりいたしました。

・いろんな事業・実績があり、最後のとりでとして支援されているとの事で、南大隅町でも事業化して欲しいと思いました。LINEは相談しやすくいいと思った。

・ひきこもり支援活動について、分かりやすく勉強になりました。

・もっと時間をかけて話を聞きたかったです。ありがとうございました。

・素晴らしい活動だと感心するばかりです。もっと知りたい、事業所も見学したいと思います。